

自信と誇りを持って行動できる生徒の育成



玉中だより

No.4

令和7年7月1日発行 文責 吉沢 猛

いつからこんなふうになったんだろう。先日相撲を見ていましたら、解説の親方が怒っていました。観戦のお客さんのマナーが悪かったとのこと。時間いっぱい仕切り中、静寂の中で「はっけよい」と声を上げたお客がいた。「発気揚揚」、または「八卦良い」の意とされふざけて出していい言葉ではありません。

学生時代お相撲さんは神と通じる大事な「人」と習いました。四股を踏むのは地面の神様にお控えいただくため。仕切り前の所作にもたくさんのきまりがあるとも。

「晴れの日」などという言葉も最近は聞かなくなりました。以前の大相撲中継のVTRを見るとお客さんはスーツや着物が多かったように感じます。お相撲を観戦すること＝「晴れ」の行事だったのでしょう。

学校にも様々な行事がございます。儀式的行事、遠足集団宿泊的行事、体育的行事等々です。学校の行事は生活の節目とも言われます。「竹」は節があるからこそしなやかに強く育つことができる。学校では節目節目の行事を通してねらいを達成することを通して生徒一人一人を育ててまいります。

体育的活動での集団行動、儀式的行事における「凛とした」所作、遠足、集団宿泊的行事での社会性やマナーの習得。大事な大事な活動です。

琴恵光関の引退相撲並びに尾車親方襲名披露興行に出かけました。横綱大の里関のお客様の前で初めての土俵入りや横綱豊昇龍関の土俵入りも見ることができました。東西両横綱がそろっての登場でした。

世界中が何やら不安定です。我が国日本は、横綱に地面を固めていただいて安定した世の中になってほしいものです。

いよいよ夏本番

暑かった6月。本格的な7月へ。
熱中症が心配です。水分補給に必要な水筒等の忘れがないようご家庭でも一声お願いします。

お気づきのことがあればご連絡ください
玉川中学校代表メール

tamachu01@tamagawa-chu.ed.jp

校長室メール

tamachu-koutyoupc@tamagawa-chu.ed.jp

